

## 令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	7	学校名	伊豆総合高等学校土肥分校	記載者	所 康俊
------	---	-----	--------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	教育相談機能の発展的継続により、生徒のこころの安定とからだの成長を図る。	特別支援教育について年間2回の校内研修の実施。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 種々の分野からの教育面に生かせる事を利用して頂けたらと思います。</li> <li>• 中学校までに色々な経験をしてきた生徒が多く在籍していると思うので、研修の場があったのはよかったと思う。</li> </ul>
		教育相談連絡会の月間1回の実施。生徒アンケート「困ったときに相談できる人がいる」の“当てはまる”が80%以上。 年2回の生徒アンケートや、生徒からの申し出によるいじめ事案の早期発見・早期対応の実施。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生徒を取り巻く人間関係面への心配りは欠かせません。</li> <li>• 定期的なアンケート調査などで生徒とコミュニケーションが取れていて良いと感じた。</li> </ul>
		生徒アンケートで「学校や社会のルールやマナーを守って行動している」が95%以上、保護者アンケートで「土肥分校生は、挨拶や言葉遣い等がしっかりと出来ている」と地域アンケートで「本校生徒の服装・頭髪等は高校生らしいと思います。」が75%以上。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 具体的にどのような意識面が不足しているかを把握しての対処取り組みは、お願いしたいことです。</li> <li>• 約90%の生徒がルールやマナーを守っている意識があることは良いことだが、守れていないルールやマナーに気がついていないとも取れるので、今後も見守り指導が必要と感じる。個人的に生徒を見ていると、まだまだ知らなければいけないルールやマナーは多くあると感じている。</li> </ul>
		新体力テスト8種目中4種目で、前年度（1年生は春）の記録を更新した生徒が60%以上。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本校の生徒は体力が不足していると思います。身体をもっと鍛えて欲しい。</li> <li>• 若い人たちの健康な心身の発達の為の基礎的な体力づくりへの御配慮を。</li> <li>• 全学年が理想だが、1年生だけでも体力が向上しているのは良いことだと感じた。</li> </ul>
		1日3回の食事を摂り生活リズムを作る。朝食摂取率90%以上。定期的な生活実態調査で、実態を把握する。健康講座を通して健康への関心を高め、健康な生活を実践できるよう継続的に指導する。毎日、6時間以上寝ている生徒80%以上。毎日、規則正しく生活している生徒70%以上。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• きちんと食べられることが生きる力と生活リズムに結び付くのだと理解してもらおうのが大事。大谷翔平選手の素晴らしい成績も、8時間は睡眠を取ることがベースになっている。</li> </ul>

様式第5号

イ	生徒一人ひとりに対応した学習指導、進路指導体制の確立を図る。	生徒アンケートで「学校は、進路について計画的に指導している」が80%以上、「進路行事によって、将来の仕事への意識が高まった」が80%以上。	B	B	・少人数でしかできない進路指導の環境があると良いのではないかと感じた。
		育てたい生徒像に向けた、授業の展開を目指す。生徒の学力を的確につかみ、指導の検証、改善に結び付け、生徒の学習改善につながる観点別評価を確立する。	A	A	・授業についていけない学生のために、テスト前の補講などがあるとよいのではないかと感じた。
		生徒にとって分かりやすい授業を行う。	A	A	・個別対応の授業は、先生方の負担は増加すると思いますが、生徒と保護者にとってはありがたいことと思います。93%の結果は素晴らしいです。
		朝読書・朝学習の時間を有効に使い落ち着いた授業態度を養うとともに、学習習慣を身につけさせる。	A	A	
ウ	学校行事や体験学習の充実と精選を図り、自己肯定感、自己有用感を育む。	生徒アンケート「学校行事に満足している」が80%以上。	A	A	・自ら考え、動くことを身につけられれば最高です。 ・生徒が自主的に考え動ける環境があるのはとても良いことだと感じた。
		「土肥分校入学後、様々な活動することによって、少しずつ自分に自信が持てるようになった」が70%以上。	A	A	・学校行事は楽しんでいる生徒がたくさんいるので、見ていても嬉しい。生徒数が少ないという利点を生かして、一人ひとりの生徒にたくさんの経験を積ませて欲しい。中学生の時には自分でも気が付かなかった能力を見つけて、生徒を成長させてください。 ・学校を取り巻く環境を生かした教育に結び付けられる資産の存在は貴重です。地域の資源をどんどん学校のために使っていただきたい。 ・高校生のうちに様々な体験ができるのはとても貴重なことだと思う。
		生徒アンケート「学校生活が楽しい」の“当てはまる”が80%以上。	A	A	
エ	家庭との連携強化を図る。	保護者アンケートにおいて「学校は保護者や地域との連携を深め、保護者や地域の理解を得ている。」が80%以上。	A	A	

様式第 5 号

		保護者アンケートで「学校はホームページや土肥高通信、学年だより、学級通信等で、生徒の様子をよく伝えている」70%以上。	A	A	・親元から離れて生活している生徒もいるので、学校での活動がオープンになっていることはとても安心できることだと思う。
オ	地域、本校、異校種との連携、協働を推進する。	地域住民アンケートで「土肥高通信を読んだことがある」が80%以上。	A	A	・今の紙ベースでの周知はメインにしていってください。 ・地域で見守っていけるので、紙媒体での情報発信は今後も必要だと感じた。
		生徒アンケートで「地域の活動に参加した」または「本年度、ボランティア活動に参加した」が50%以上。	A	A	・生徒人数が少なくなり、地域との交流はますます重要な要件になっています。
		生徒アンケートで「災害が起きた時の準備や心構えができている。」が80%以上。	B	B	・生徒にとって可能な内容を、できるだけ多く知らせてもらいたい。 ・避難訓練や地域のイベントに積極的に参加するのは、生徒の社会性が育つので、とても良いと思う。 ・生徒が日常生活をしている場所にはどんな災害が起こる可能性があるのかを確認し、地域の避難訓練があるときには参加をするとより良いと感じた。
		生徒アンケートで「本校との交流について、積極的に参加して成長することができた。」が60%以上。	A	A	・土肥分校は3年間同じクラスなので、本校の生徒と定期的に関われるのは、同世代との関わりを学べる良い機会だと思う。
カ	校務、学校行事等の見直し、精選を行い、勤務の環境を整える。	勤務超過時間年間 360 時間以内。	A	A	・先生が休みやすいように、行事の日程を変更していくのが良いと思う。
		法定安全点検の実施し、学校施設における事故発生数を0件。	A	A	
		職員安全衛生委員会の月1回程度開催、職場の健康づくり講座の開催、教育DXの推進。	A	A	・生徒を学ばせ、導く先生方の負担軽減への御配慮を。